

国等へ新東名高速道路の整備推進などを要望しました

令和4年11月14日（月）

新東名高速道路は、我が国の社会経済活動の根幹を担う新たな大動脈であり、重要な道路です。

このため、神奈川県、愛知県、静岡県、名古屋市、静岡市、浜松市、の3県3市は、新東名高速道路建設促進協議会を組織し、整備促進に向けた積極的な活動を行っており、このたび、新東名高速道路の早期全線開通や6車線化の実現等を求める決議を行い、国等へ要望活動を実施しました。

小坂橋神奈川県副知事(会長の神奈川県知事代理)と愛知県中島建設局技監、静岡県森本交通基盤部理事は、国土交通省佐々木道路局次長にWEB要望を行い、ポストコロナ時代において、持続的な経済成長を確実なものとするために、観光振興や増加するモノの移動を支える新東名の整備推進等を強く要請しました。

要望活動の様子



国土交通省 佐々木道路局次長への要望



小坂橋副知事



(上段左から) 静岡県森本交通基盤部理事、小坂橋神奈川県副知事
(下段左から) 国土交通省道路局佐々木次長、愛知県中島建設局技監